

特定健康診査・特定保健指導に関するアンケート調査

資料2-2-①

【市町村国保 調査票】

- I 保険者の概要
- II 特定健康診査等実施計画、実績、評価
- III 特定健康診査の実施状況
- IV 特定保健指導＜動機付け支援＞の状況
- V 特定保健指導＜積極的支援＞の状況
- VI 特定健診・特定保健指導の課題等

<記入要領>

- ・アンケートの回答にあつては、特定健診・特定保健指導の実施体制・方法について、貴保険者で定める原則的な対応の範囲にてお答えください。
- ・回答は、特に指定のない場合には、平成21年度のことについてお答えください。
- ・平成20年度の体制から変更しているものは、変更記入欄に○を記入してください。
- ・選択肢があるものについては、該当する選択肢の番号を選択してください。
- ・具体的に記入する欄については、具体的内容をご記入ください。

●連絡先

基本情報		本調査票の記入者	
都道府県名		所属部署名	
保険者名		役職	
保険者番号(国保連合会用8桁番号)		氏名	
住所		連絡先電話番号	
		記入日	*西暦で記入(例: 2010/5/10)

●保険者の状況

		平成21年4月1日
人口		
国保被保険者数	総数	
	(再掲) 40～64歳	
	(再掲) 65～74歳	

*総数には全被保険者数を記入してください

●国保担当部署の専門職の配置状況※(平成21年4月1日時点)

	保健師		管理栄養士		看護師		栄養士	
	人		人		人		人	
正規職員		人		人		人		人
うち専任(再掲)		人		人		人		人
うち併任(再掲)		人		人		人		人
正規以外の職員 (実人数)		人		人		人		人
正規以外の職員 (常勤換算)		人		人		人		人

※ 特定健診・保健指導に限らず、国保の保健事業に従事されている職員についてご記入ください。

正規職員(専任、併任)の回答箇所には、国保担当部署に専門職が配置されていれば、その人数を記入、
 正規以外の職員(契約、パート、アルバイト等を含む)の回答箇所については、国保担当部署に専門職が配置
 されていれば、その実人数と常勤換算の人数をご記入ください。

なお、配置されていない場合は「0」を記入してください。
 (国保の業務に従事していない場合は人数に含みません。)

※正規職員以外の職員(非常勤職員)の常勤換算の計算方法

1週間の通常勤務時間を基本として、下記のように常勤換算して小数第一位までご記入下さい。
 例: 1週間の通常の勤務時間が40時間の場合、週4日(各日5時間)勤務の職員が1人いる場合
 非常勤職員数 = (4日 × 5時間 × 1人) / 40時間 = 0.5人

●職員(事務職、正規以外の職員も含む)が参加している研修会

	研修会の種類(実施主体)	参加職員数(延人数)
平成20年度		
平成20年度		
平成20年度		
平成21年度		
平成21年度		
平成21年度		

↑<研修会の実施主体:1. 国、2. 都道府県及び保険者協議会、3. 保険者団体、4. 職能団体、5. 民間、6. 自保険者、7. 関係学会、8. その他>から選択

● 特定健康診査等実施計画についてお尋ねします。

特定健診等の目標値を記入して下さい。(H21年度以降を見直している場合は、見直した目標値を記入。)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
特定健康診査の実施率(%)					
特定保健指導の実施率(%)					
メタボ該当者及予備群の減少率(%)					

特定健診・保健指導の目標値を計画策定以降に見直している場合は、その時期を記入してください。

←<1. 見直していない、2. 平成21年度以降分を平成20年度に見直した、3. 平成22年度以降分を平成21年度に見直した>より選択(複数可)

● 平成20、21年度の特定健診・保健指導の実績についてお尋ねします。

平成20年度実績の項目No.2～11の総数については、国への実績報告において報告したものを計上してください。

平成21年度実績については、平成22年3月31日までに実施した分について計上して下さい。

		平成20年度	平成21年度
		総計	総計
1	被保険者数(40～74歳)(当該年度4月1日現在)		
2	特定健康診査対象者数		
3	特定健康診査受診者数		
4	健診受診率		
5	評価対象者数		
6	特定保健指導の対象者数		
7	(うち)動機付け支援		
8	(うち)積極的支援		
9	特定保健指導の終了者・利用者数 ※		
10	(うち)動機付け支援		
11	(うち)積極的支援		

※ 平成20年度については終了者数を、平成21年度は利用者数を計上してください。(利用者:初回面接終了者)

●年齢階級別特定健診・保健指導の実績値(平成20、21年度)

- ※当該調査項目については、集計データの提供を後日(11月頃)ご依頼する予定ですので、今回の調査では記入不要といたします。
- ・国保連合会の「特定健診等データ管理システム」をご利用で、同意をいただいた保険者におかれましては21年度分のみ国保連合会を經由し収集予定。(20年度分は既に昨年度ご提供いただいているため)
- ・その他の保険者におかれましては、平成20・21年度分(法定報告の数値)について、ご記入いただき国保連合会を經由し収集予定。

【平成20、21年度特定健診】

特定健診 ※法定報告の数字をご記入ください。									
20年度				21年度					
		総数	男性	女性			総数	男性	女性
対象者数 (4月1日時点加入者 で年度を通じて異 動・除外者 でない方)	40～44歳				対象者数 (4月1日時点加入者で 年度を通じて異動・除外 者でない方)	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
受診者数	40～44歳				受診者数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			

特定健診(内臓脂肪症候群の状況) ※法定報告の数字をご記入ください。									
20年度				21年度					
		総数	男性	女性			総数	男性	女性
内臓脂肪 症候群 該当者数	40～44歳				内臓脂肪症 候群 該当者数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
内臓脂肪 症候群 予備群者 数	40～44歳				内臓脂肪症 候群 予備群者数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			

特定健診(服薬中の者の状況) ※法定報告の数字をご記入ください。									
20年度				21年度					
		総数	男性	女性			総数	男性	女性
血圧を下げる薬を服用中の者の数	40～44歳				血圧を下げる薬を服用中の者の数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
コレステロールを下げる(脂質異常症の)薬を服用中の者の数	40～44歳				コレステロールを下げる(脂質異常症の)薬を服用中の者の数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
インスリン注射を使用又は血糖を下げる薬を服用中の者の数	40～44歳				インスリン注射を使用又は血糖を下げる薬を服用中の者の数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			

【平成20、21年度特定保健指導 <動機付け支援>】

特定保健指導 <動機付け支援> ※法定報告の数字をご記入ください。									
20年度					21年度				
		総数	男性	女性			総数	男性	女性
対象者数	40～44歳				対象者数	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
利用者数 (初回面接 を行った 者)	40～44歳				利用者数 (初回面接を 行った者)	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			
終了者数 (6カ月後 評価を 行った者)	40～44歳				終了者数 (6カ月後評 価を行った 者)	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
	65～69歳					65～69歳			
	70～74歳					70～74歳			

【平成20、21年度特定保健指導 <積極的支援>】

特定保健指導 <積極的支援> ※法定報告の数字をご記入ください。									
20年度					21年度				
		総数	男性	女性			総数	男性	女性
対象者数	40～44歳				対象者数	40～45歳			
	45～49歳					45～50歳			
	50～54歳					50～55歳			
	55～59歳					55～60歳			
	60～64歳					60～65歳			
利用者数 (初回面接 を行った 者)	40～44歳				利用者数 (初回面接を 行った者)	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			
終了者数 (6カ月後 評価を 行った者)	40～44歳				終了者数 (6カ月後評 価を行った 者)	40～44歳			
	45～49歳					45～49歳			
	50～54歳					50～54歳			
	55～59歳					55～59歳			
	60～64歳					60～64歳			

● 特定健診・保健指導の実績値評価のための健診データ等の集計・分析についてお伺いします。

該当する回答の数字、もしくは具体的内容をご記入ください。

なお、複数回答の場合は、選択肢の数字の間にコンマ(,)を入れてください。(例:1, 2, 3)

※「評価」については、「標準的な健診・保健指導プログラム(確定版)」の第4編第3章「健診・保健指導の実施・評価のためのデータ分析とデータ管理」をご参照ください。

1. 特定健診・保健指導のデータの集計・分析

① 健診データ等(特定健診・保健指導を含む)の集計・分析等行っていますか。(委託で行っている場合を含む)		←<1. H19年度以前から行っている、2. H20年度以降から行っている、3. 現在は行っていないが、今後行う予定、4. 行う予定はない>より選択
② 上記①で「4. 予定はない」を選んだ場合、その理由は何ですか。		←<1. 集計・分析方法が分からない、2. 集計・分析するためのデータベースが整備されていない、3. 分析人員の不足、4. その他>より選択
③ 「1. H19年度以前から行っている、2. H20年度以降から行っている」を選んだ場合、その具体的な内容		←<1. 健診データの経年的な変化、2. 健診データによる地域特性の分析、3. 健診データの保健指導への活用、4. 実施した保健指導の分析、5. 2か年の健診データからの保健指導の効果の分析、6. その他>より選択(複数可)
「6. その他」を選んだ場合、具体的内容		

2. 健診データ等とレセプトのデータの突合分析

① 健診データ等とレセプト情報を突合して集計・分析等行っていますか。(委託で行っている場合を含む)		←<1. H19年度以前から行っている、2. H20年度以降から行っている、3. 現在は行っていないが、今後行う予定、4. 行う予定はない>より選択
② 上記①で「4. 予定はない」を選んだ場合、その理由は何ですか。		←<1. 集計・分析方法が分からない、2. 集計・分析するためのデータベースが整備されていない、3. 分析人員の不足、4. その他>より選択
③ 「1. H19年度以前から行っている、2. H20年度以降から行っている」を選んだ場合、その具体的な内容		←<1. 個人の健診データと疾病の発生状況(レセプトデータより)の突合分析、2. 集団の健診データと疾病の発生状況の突合分析、3. 保健指導と健診データと疾病の発生状況との突合分析、4. 健診データと疾患の発生状況と医療費の突合分析、5. その他>より選択(複数可)
「5. その他」を選んだ場合、具体的内容		

●平成21年度特定健診の実施状況についてお尋ねします。

該当する回答の数字、もしくは具体的内容をご記入ください。

なお、複数回答の場合は、選択肢の数字の間にコンマ(,)を入れてください。(例: 1, 2, 3)

平成20年度の体制から変更しているものは、変更記入欄に○を記入してください。

H20年度から変更した項目には、○を記入。

平成21年度
回答欄

	H20年度から変更した項目には、○を記入。	平成21年度回答欄	
①直営・委託の状況			←<1. 直営のみ、2. 直営と外部委託の組み合わせ、3. 外部委託のみ>より選択
②外部委託先			←<1. 地域の医師会・医療機関、2. 健診業者、3. その他>より選択(複数可)
→委託先の範囲			←<1. 自市町村内、2. 群市区内、3. 都道府県内、4. 都道府県外、5. その他>より選択(複数可)
③個別・集団の実施状況について			←<1. 個別健診、2. 集団健診、3. 個別健診と集団健診の組み合わせ>より選択
→1. 個別健診の場合、契約機関数			
→2. 集団健診の場合、健診会場数			
1. 実施体制			
④他の検診との同時実施の状況 (同時実施とは、「同日に、同会場で他検診を受診できる体制」のことです。)			
→がん検診との同時実施 (但し、種類は問いません。)			←<1. 同時実施可能な機関では全てで同時実施している、2. 実施可能な機関であっても、一部実施機関でのみ同時実施している、3. 同時実施していない>より選択
→肝炎ウイルス検診との同時実施 (但し、種類は問いません。)			←<1. 同時実施可能な機関では全てで同時実施している、2. 実施可能な機関であっても、一部実施機関でのみ同時実施している、3. 同時実施していない>より選択
→生活機能評価との同時実施 (国保の被保険者についてお答えください。)			←<1. 同時実施可能な機関では全てで同時実施している、2. 実施可能な機関であっても、一部実施機関でのみ同時実施している、3. 同時実施していない>より選択
⑤市町村が実施するがん検診との同時実施に向けた連携の状況			←<1. 市町村のがん検診を同時に受けられる医療機関情報を提供している、2. 市町村のがん検診を受託している医療機関との契約、3. その他同時実施の体制づくりを調整している、4. 特に連携していない>より選択

2. 労働安全衛生法に基づく健診結果の受領の状況	①労働安全衛生法に基づく健診結果の受領		←<1. 受け取った(一部受領を含む)、2. 受け取っていない>より選択
	②①で「1. 受け取った」と選択した場合の、結果の形式		←<1. XML形式、2. XML以外の加工可能な電子的形式(Excel、CSV等)、3. PDF等加工不可能な電子媒体、4. 紙媒体、5. その他>より選択(複数可)

3. 特定健診を実施している期間	①個別健診における実施期間 ※実施期間とは、保険者からみた実施期間である		←<1. 1年を通じて実施、2. 一定期間のみ実施(実施期間は6か月以上)、3. 一定期間のみ実施(実施期間は3か月以上6か月未満)、4. 一定期間のみ実施(実施期間は3か月未満)>より選択
	②集団健診における実施期間		←<1. 1年を通じて実施、2. 一定期間のみ実施(実施期間は6か月以上)、3. 一定期間のみ実施(実施期間は3か月以上6か月未満)、4. 一定期間のみ実施(実施期間は3か月未満)>より選択

4. 受診対象者への通知の実施状況	①個別通知実施の有無 →個別通知の方法		←<1. あり、2. なし>より選択 ←<1. 受診券等文書の送付、2. 電話での案内、3. 個別訪問による案内、4. その他>より選択(複数可)
	②個別通知の時期		←<1. 年度当初一斉通知(前年度末の一斉通知も含む)、2. 誕生月等、受診該当月の前に段階的に対象者へ通知、3. その他>より選択(複数可)

5. 未受診者への受診勧奨の取組状況	①受診勧奨の実施の有無 →受診勧奨の方法		←<1. あり、2. なし>より選択 ←<1. 文書送付(FAXを含む)での案内、2. 電話での案内、3. 個別訪問による案内、4. その他>より選択(複数可)
	③未受診の理由把握の実施の有無		←<1. あり、2. なし>より選択

6. 受診率向上(受診勧奨)のための工夫

①受診率向上(受診勧奨)のために工夫している点

--

←<1. 受診券の送付、2. 年度途中の未受診者への受診勧奨、3. 商工会・農協・漁協等との連携、4. 医師会との連携、5. 地域人材(保健指導員、食生活改善推進員等)の活用、6. 保健指導終了者の協力、7. 職域(事業所)との連携、8. 民間企業(フィットネスクラブ等)との連携、9. その他関係団体を通じての呼びかけ、10. 電話案内、11. 個別訪問、12. 広報キャンペーン等の実施、13. ポピュレーションアプローチとの連携、14. 自己負担の無料化、15. その他、16. 特になし>より選択(複数可)

② ①の回答のうち、受診率向上のために有効だと思った方法とその具体的内容(主なものを3つまで)

↓①の番号

↓具体的内容

7. 特定健診の自己負担額の状況

自己負担額についてご回答ください。

①自己負担の有無

②自己負担額の設定方法

③自己負担額

※定額の場合は額を、定率の場合は率をご記入ください

←<1. あり、2. なし>より選択

←<1. 定額で設定、2. 定額設定だが年齢に応じて異なる、3. 定率にて設定、4. 定率にて設定しているが年齢に応じて異なる 5. その他の条件に応じて設定>より選択(複数可)

円

※課税状況や年齢、個別・集団等の健診体制の状況に応じて複数の額の設定がある場合には、特定健診で実施する項目の範囲内で最も高い額をご記入ください。

%

8. 特定保健指導対象者選定のための階層化の状況

動機付け支援の場合

①対象者の重点化(絞り込み)の有無の状況

②重点化(絞り込み)の方法

積極的支援の場合

③対象者の重点化(絞り込み)の有無の状況

④重点化(絞り込み)の方法

←<1. 基準該当者は一律に対象者として設定、2. 基準該当者のうち、対象者は一部絞り込みを行っている>より選択

←<1. 対象地域による優先順位付け、2. 年齢による優先順位付け、3. 性別による優先順位付け、4. 検査値・対象リスクによる優先順位付け、5. 受診状況、利用状況による優先順位付け、6. その他>より選択(複数可)

←<1. 基準該当者は一律に対象者として設定、2. 基準該当者のうち、対象者は一部絞り込みを行っている>より選択

←<1. 対象地域による優先順位付け、2. 年齢による優先順位付け、3. 性別による優先順位付け、4. 検査値・対象リスクによる優先順位付け、5. 受診状況、利用状況による優先順位付け、6. その他>より選択(複数可)

9. 健診結果の通知

個別健診の場合*

① 健診結果の通知方法

--	--

←<1. 対面にて説明している(個別)、2. 対面にて説明している(集団)、3. 郵送、4. その他>より選択(複数可)
※3. については、一律郵送で実施している場合のみの回答

② 受診勧奨値を超えた人への受療勧奨実施の有無

--	--

←<1. あり、2. なし>より選択

→ ありの場合、医療機関受診の確認の有無

--	--

←<1. あり、2. なし>より選択

集団健診の場合*

③ 健診結果の通知方法

--	--

←<1. 対面にて説明している(個別)、2. 対面にて説明している(集団)、3. 郵送、4. その他>より選択(複数可)
※3については、一律郵送で実施している場合のみの回答

④ 受診勧奨値を超えた者への受療勧奨実施の有無

--	--

←<1. あり、2. なし>より選択

→ ありの場合、医療機関受診の確認の有無

--	--

←<1. あり、2. なし>より選択

*個別健診・集団健診は、平成21年度補助金交付要綱の定義と同一ではなく、個別健診は、個人が医療機関等で個別に受ける健診のみを示し、集団健診には、健診車等で受ける健診を含みます

10. 受診勧奨値を超えた者等への対応

責保険者の原則的な対応についてご回答ください。

① 受診勧奨値を超えた保健指導対象者に対する保健指導の実施の有無

--	--

←<1. (特定)保健指導を実施している、2. (特定)保健指導を実施していない>より選択

② 肥満を伴わない(服薬中の者を除く)受診勧奨値を超えている人※への対応

--	--

←<1. 保健指導を実施している、2. 保健指導を実施していない>より選択

※例: BMI、腹囲は基準値を超えていないが、高血圧の者等

③ 健診受診時に服薬治療中(血圧、コレステロール、血糖値を下げる薬)の人への保健指導の実施状況

--	--

←<1. 保健指導を実施している、2. 保健指導を実施していない>より選択

④ 上記①②③で「保健指導を実施している」と回答した場合の、保険者の体制について

--	--

←<1. 国保の事業として保健指導を実施している、2. 市町村衛生部門の事業として保健指導を実施している、3. 国保部門と衛生部門と共同で実施している、4. その他>より選択(複数可)

① 特定健診の円滑な実施のために改善が必要と考える項目とその具体的内容(主なものを3つまで)

↓ <1. 制度周知方法、2. 実施場所、3. 実施期間、4. 委託先、5. 他の健診との同時実施の体制づくり、6. 受診券の個別通知、7. 健診結果の管理、8. 対象者の設定(重点化)、9. 費用決済、10. 未受診者の勧奨、11. 資格異動者の把握、12. その他、13. 特になし>より選択(3つまで選択可)

↓ 具体的内容

11. 2年間を経過しての評価・意見

② 平成21年度から平成22年度特定健診に向けて改善した点とその具体的内容(主なものを3つまで)

↓ <1. 制度周知方法、2. 個別案内の方法、3. 実施場所、4. 実施期間、5. 委託先、6. 資格異動者の把握、7. その他、8. 特になし>より選択(3つまで選択可)

↓ ②の番号

↓ 具体的内容

●平成21年度特定保健指導＜動機付け支援＞

該当する回答の数字、もしくは具体的内容をご記入ください。

なお、複数回答の場合は、選択肢の数字の間にコンマ(,)を入れてください。(例:1, 2, 3)

平成20年度の体制から変更しているものは、変更記入欄に○を記入してください。

H20年度から
変更した項
目には、○を
記入。

平成21年度
回答欄

1. 実施の有無	実施の有無(実績報告での取扱い)	<input type="text"/>	←<1. 実施(実績報告で利用者数を計上)、2. 実施(利用者はいたが、実績報告での計上せず)、3. 実施(利用機会は作ったが、利用者ゼロ)、4. 未実施>より選択
	⇒未実施の場合の理由	<input type="text"/>	←<1.契約締結の遅れ、2.健診結果データの処理(システム開発を含む)の遅れ(健診機関・代行機関・共同システム・自社システム)、3.保険者の人材不足、4.予算不足、5. その他>(複数可)
2. 実施体制	①直営・外部委託	<input type="text"/>	←<1. 直営のみ、2. 直営と外部委託の組み合わせ、3. 外部委託のみ>より選択
	⇒直営の場合の実施者	<input type="text"/>	←<1. 国保部門、2. 衛生部門への執行委任、3. 国保部門と衛生部門の共同実施>より選択
	②外部委託先	<input type="text"/>	←<1. 地域の医師会・医療機関、2. 健診業者※、3. 保健指導業者※、4. その他>より選択(複数可)
	→委託先の範囲	<input type="text"/>	←<1. 自市町村内、2. 群市区内、3. 都道府県内、4. 都道府県外、5. その他>より選択(複数可)
	③個別契約の実施機関数	<input type="text"/>	
※健診業者とは、健診／保健指導の両方を行う業者を指し、保健指導業者とは、保健指導のみを行う業者を指します。			
3. 実施期間	※実施期間とは、保険者からみた実施期間である	<input type="text"/>	←<1. 1年を通じて実施、2. 一定期間のみ実施(実施期間は6カ月以上)、3. 一定期間のみ実施(実施期間は3カ月以上6カ月未満)、4. 一定期間のみ実施(実施期間は3カ月未満)>より選択
4. 利用対象者への個別通知(案内)の実施状況	利用者への通知方法	<input type="text"/>	←<1. 健診結果返却時に口頭で案内、2. 利用券発行での案内、3. 利用券以外の文書送付での案内、4. 電話での案内、5. 個別訪問による案内、6. その他>より選択(複数可)

5. 特定健診受診から保健指導(初回面接)までの平均的な期間	保健指導(初回面接)の実施時期	<input type="text"/>	←<1. 健診日と同日、2. 特定健診の結果返却日と同日、3. 保健指導の案内後、4. 把握していない>より選択 カ月
	⇒ 上記設問で「2」「3」のいずれかを回答した場合、健診受診日から保健指導(初回面接)までの平均的な期間(1ヵ月単位)をご記入ください	<input type="text"/>	

6. 初回面接と6ヵ月後評価以外の支援の有無	初回面接と6ヵ月後評価以外の支援の有無	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択
	⇒ ありの場合、その支援の内容	<input type="text"/>	←<1. 面接、2. 電話、3. メール、4. その他>より選択(複数可)
	→上記質問「4. その他」を選んだ場合、その具体的内容	<input type="text"/>	
⇒ ありの場合、その支援の回数	<input type="text"/>	回	

7. 6ヵ月後評価の方法	①面接(訪問を含む)実施の有無	<input type="text"/>	←<1. 全員に面接を実施している、2. 可能な人へのみ面接を実施している、3. 全員に面接を実施していない>より選択
	②腹囲・体重以外の6ヶ月後評価の項目	<input type="text"/>	←<1. 血圧の測定、2. 血液検査、3. 行動変容ステージ、4. 本人による改善状況に対する主観的評価、5. その他、6. なし>より選択(複数可)

8. 未利用者への利用勧奨の状況	①利用勧奨の実施の有無	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択
	②利用勧奨の実施者数	<input type="text"/>	←<1. 文書送付(FAXやメールを含む)での案内、2. 電話での案内、3. 個別訪問による案内、4. その他>より選択(複数可)
	③利用勧奨の方法	<input type="text"/>	
	④未利用の理由把握の実施の有無	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択

9. 利用率向上のための工夫	①利用率向上のために工夫している点	<input type="text"/>	←<1. 利用券の送付、2. 商工会・農協・漁協等との連携、3. 医師会との連携、4. 地域人材(保健指導員、食生活改善推進員等)の活用、5. 保健指導終了者の協力、6. その他関係団体を通じての呼びかけ、7. 電話案内、8. 個別訪問、9. 広報キャンペーン等の実施、10. 欠席者等への電話や訪問でのフォローの実施、11. 参加者同士の仲間づくりの支援、12. 夫婦・家族での参加可能、13. ポピュレーションアプローチとの連携、14. その他、15. 特になし>より選択(複数可)
	② ①の回答のうち、実施率向上に向けて有効だ(実施率が高かった)と思った方法とその具体的内容(主なもの3つまで)	↓①の番号	↓具体的内容
		<input type="text"/>	<input type="text"/>

**10. 動機付け支援の
自己負担額の状況**

自己負担額についてご回答ください。

- ①自己負担の有無
- ②自己負担額の設定方法
- ③自己負担額

※定額の場合は額を、定率の場合は率をご記入ください

←＜1. あり、2. なし＞より選択

←＜1. 定額で設定、2. 定額設定だが年齢に応じて異なる、3. 定率にて設定、4. 定率にて設定しているが年齢に応じて異なる
5. その他の条件に応じて設定＞より選択(複数可)

※課税状況や年齢、個別・集団等の実施体制の状況に応じて複数の額の設定がある場合には、動機付け支援の範囲内で実施する項目で最も高い額をご記入ください。

円

%

**11. 動機付け支援の
実施にあたり
改善が必要な点**

動機付け支援の円滑な実施のために改善が必要と考える項目とその具体的内容(主なものを3つまで)

↓＜1. 利用対象者への案内方法、2. 指導者のスキル、3. 外部委託先との連携、
4. 保健指導の内容、5. 保健指導期間もしくは終了後の行動変容を継続させるための支援、6. 保健指導の実施場所、7. 保健指導の実施日程、8. 保健指導の実施時間帯、9. 6ヶ月後評価の方法、10. その他、11. 特になし＞より選択(3つまで選択可)

↓番号	↓具体的内容

●平成21年度特定保健指導＜積極的支援＞

該当する回答の数字、もしくは具体的内容をご記入ください。

なお、複数回答の場合は、選択肢の数字の間にコンマ(,)を入れてください。(例: 1, 2, 3)

平成20年度の体制から変更しているものは、変更記入欄に○を記入してください。

H20年度から変更した項目には、○を記入。

平成21年度
回答欄

1. 実施の有無

実施の有無(実績報告での取扱い)

--

←<1. 実施(実績報告で利用者数を計上)、2. 実施(利用者はいたが、実績報告での計上せず)、3. 実施(利用機会は作ったが、利用者ゼロ)、4. 未実施>より選択

⇒未実施の場合の理由

--

←<1.契約締結の遅れ、2.健診結果データの処理(システム開発を含む)の遅れ(健診機関・代行機関・共同システム・自社システム)、3.保険者の人材不足、4.予算不足、5. その他>(複数可)

2. 実施体制

①直営・外部委託

--	--

←<1. 直営のみ、2. 直営と外部委託の組み合わせ、3. 外部委託のみ>より選択

⇒ 直営の場合の実施者

--	--

←<1. 国保部門、2. 衛生部門への執行委任、3. 国保部門と衛生部門の共同実施>より選択

②外部委託先

--	--

←<1. 地域の医師会・医療機関、2. 健診業者※、3. 保健指導業者※、4. その他>より選択(複数可)

→委託先の範囲

--	--

←<1. 自市町村内、2. 群市区内、3. 都道府県内、4. 都道府県外、5. その他>より選択(複数可)

③個別契約の実施機関数

--	--

※健診業者とは、健診／保健指導の両方を行う業者を指し、保健指導業者とは、保健指導のみを行う業者を指します。

3. 実施期間

※実施期間とは、保険者からみた実施期間である

--	--

←<1. 1年を通じて実施、2. 一定期間のみ実施(実施期間は6カ月以上)、3. 一定期間のみ実施(実施期間は3カ月以上6カ月未満)、4. 一定期間のみ実施(実施期間は3カ月未満)>より選択

4. 利用対象者への個別通知(案内)の実施状況

①利用者への通知方法

--	--

←<1. 健診結果返却時に口頭で案内、2. 利用券発行での案内、3. 利用券以外での文書送付での案内、4. 電話での案内、5. 個別訪問による案内、6. その他>より選択(複数可)

5. 特定健診受診から保健指導(初回面接)までの平均的な期間	保健指導(初回面接)の実施時期	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. 健診日と同日、2. 特定健診の結果返却日と同日、3. 保健指導の案内後、4. 把握していない>より選択
	⇒ 上記設問で「2」「3」のいずれかを回答した場合、健診受診日から保健指導(初回面接)までの平均的な期間(1ヵ月単位)をご記入ください	<input type="text"/>	<input type="text"/>	ヵ月

6. 積極的支援の自己負担額の状況	自己負担額についてご回答ください。	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択
	①自己負担の有無	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. 定額で設定、2. 定額設定だが年齢に応じて異なる、3. 定率にて設定、4. 定率にて設定しているが年齢に応じて異なる 5. その他の条件に応じて設定>より選択(複数可)
	②自己負担額の設定方法	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
	③自己負担額	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
※定額の場合は額を、定率の場合は率をご記入ください		<input type="text"/>	<input type="text"/>	%

※課税状況や年齢、個別・集団等の実施体制の状況に応じて複数の額の設定がある場合には、積極的支援の範囲内で実施する項目で最も高い額をご記入ください。

7. 6ヵ月後評価の方法	①面接(訪問を含む)実施の有無	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. 全員に面接を実施している、2. 可能な人にも面接を実施している、3. 全員に面接を実施していない>より選択
	②腹囲・体重以外の6ヶ月後評価の項目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. 血圧の測定、2. 血液検査、3. 行動変容ステージ、4. 本人による改善状況に対する主観的評価、5. その他、6. なし>より選択(複数可)

8. 未利用者への利用勧奨の状況	①利用勧奨の実施の有無	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択
	②利用勧奨の実施者数	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	③利用勧奨の方法	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. 文書送付(FAXやメールを含む)での案内、2. 電話での案内、3. 個別訪問による案内、4. その他>より選択(複数可)
	④未利用の理由把握の実施の有無	<input type="text"/>	<input type="text"/>	←<1. あり、2. なし>より選択

9. 利用率向上のための工夫

①利用率向上のために工夫している点

--

←<1. 利用券の送付、2. 商工会・農協・漁協等との連携、3. 医師会との連携、4. 地域人材(保健指導員、食生活改善推進員等)の活用、5. 保健指導終了者の協力、6. その他関係団体を通じての呼びかけ、7. 電話案内、8. 個別訪問、9. 広報キャンペーン等の実施、10. 欠席者等への電話や訪問でのフォローの実施、11. 参加者同士の仲間づくりの支援、12. 夫婦・家族での参加可能、13. ポピュレーションアプローチとの連携、14. その他、15. 特になし>より選択(複数可)

② ①の回答のうち、利用率向上に向けて有効だ(利用率が高かった)と思った方法とその具体的内容(主なもの3つまで)

↓①の番号

↓具体的内容

10. 終了率※向上のための工夫

①終了率向上のために工夫している点

--

←<1. 商工会・農協・漁協等との連携、2. 医師会との連携、3. 地域人材(保健指導員、食生活改善推進員等)の活用、4. 保健指導終了者の協力、5. その他関係団体を通じての呼びかけ、6. 欠席者等への電話や訪問でのフォローの実施、7. 参加者同士の仲間づくりの支援、8. 夫婦・家族での参加可能、9. ポピュレーションアプローチとの連携、10. その他、11. 特になし>より選択(複数可)

② ①の回答のうち、終了率向上に向けて有効だ(終了率が高かった)と思った方法とその具体的内容(主なもの3つまで)

↓①の番号

↓具体的内容

※終了率とは、6ヶ月後評価を行った者、利用者への度重なる督促・評価等の実施記録を以て6ヶ月後評価を完了したとみなした者を含む。

11. 2年連続で積極的支援対象となった者への対応

①対象者の設定方法

←<1. 昨年積極的支援を受けた人も含め、一律に積極的支援対象者とする、2. 昨年積極的支援を受けた人は対象者外とする、3. その他>より選択

②2年連続対象者のプログラム内容

上記②で「2. 昨年とは異なる内容で実施している」場合の内容について

←<1. 昨年と同じ内容で実施している、2. 昨年とは異なる内容で実施している>より選択

③連続で対象となった者への保健指導の課題

--

←<1. 2年目の対象者用のプログラムを用意している、2. 担当者が変わる、3. 行動目標の設定に工夫を行うようにしている、4. その他 >より選択(複数可)

←<1. 対象者の意欲低下、2. 対象者の不参加、3. 継続して対象となった者への支援プログラムがない、4. 行動目標の設定の仕方、5. その他>より選択(複数可)

12. 積極的支援のプログラム

①種類の数

--	--

②複数プログラムを用意している場合、プログラム間の違い

--	--

③プログラムの支援ポイント数(複数のプログラムがある場合には、参加者数が最も多いプログラムのポイント数を記入してください)

--	--

←<1. 実施日時(対象者の利便性)、2. 実施場所、3. 実施機関、4. 対象者・指導内容>より選択(複数可)

13. 積極的支援の実施にあたり改善が必要な点

積極的支援の円滑な実施のために改善が必要と考える項目とその具体的内容(主なものを3つまで)

↓<1. 利用対象者への案内方法、2. 指導者のスキル、3. 外部委託先との連携、4. 保健指導の内容、5. 保健指導期間もしくは終了後の行動変容を継続させるための支援、6. 保健指導の実施場所、7. 保健指導の実施日程、8. 保健指導の実施時間帯、9. 6ヶ月後評価の方法、10. その他、11. 特になし>より選択(3つまで選択可)

↓番号

↓具体的内容

●平成21年度特定保健指導(全体)

該当する回答の数字、もしくは具体的内容をご記入ください。

なお、複数回答の場合は、選択肢の数字の間にコンマ(,)を入れてください。(例: 1, 2, 3)

H20年度から変更した項目には、○を記入。

平成21年
回答欄

1. 保健指導開始後の医療機関受診開始者への対応

保健指導開始後の医療機関受診開始者の有無
⇒上記で「1. いた」と回答した場合、その対応策

←<1. いた、2. いなかった、3. 外部委託のためわからない>

←<1. 主治医の了解のもとに保健指導継続、2. 保健指導は中断、3. その他>より選択(複数可)

①特定保健指導の円滑な実施のために改善が必要と考える項目およびその具体的内容(主なもの3つまで)

↓<1. 保健指導実施機関の管理、2. 制度周知、3. 実施時期の設定、4. 健診実施から初回面接開始までの時期、5. 保健指導記録の管理、6. 未利用者の勧奨、7. 費用決済、8. 新たに専門職を増員、9. その他、10. 特になし>より選択(3つまで選択可)

↓番号

↓具体的内容

↓番号	↓具体的内容

2. 2年間を経過しての評価・意見

②平成20, 21年度から平成22年度特定保健指導に向けて改善した点とその具体的内容(主なもの3つまで)

↓<1. 制度周知方法、2. 個別案内の方法、3. 実施場所、4. 実施期間、5. 委託先、6. その他、7. 特になし>より選択(3つまで選択可)

↓番号

↓具体的内容

↓番号	↓具体的内容

●保険者における特定健診・特定保健指導関連の保健事業の状況

特定健診等の効果を上
げるためのポピュレーシ
ョンアプローチ(例:健康イ
ベント等、被保険者全員
を対象とした事業)の状
況

⇒「実施」を選んだ場合、その具体的内容

←<1. 国保部門単独での実施、2. 衛生部門単独での実施、3. 国保部門と衛生部門の共同実施、4. 実施せず>より選択

←<1.健康まつり、講演会、セミナー、ウォーキング大会、マラソン大会等のイベント、2.広報等による健康づくり、健診・保健指導に関する情報提供、3.地域人材の活用による情報提供、4.地域人材(保健指導員)等の育成、5.健康づくり、健診・保健指導に関するキャンペーンの展開(スローガンの設定、標語コンテスト等)、6.健康づくり関連施設利用の費用助成、7.その他>

●特定健診・特定保健指導の実施により、良かった点があればご記入ください。

←<1. 行政側の意識・体制・事業内容の変化、2. 被保険者の健康に対する意識改革、3. 健診対象者の明確化、4. 健診受診率の向上、5. 保健指導対象者の明確化、6. 保健指導の内容、7. 保健指導の効果があつた、8. 指導者のスキルの向上、9. 従来ではあまり対象とならなかつた対象者へのアプローチが可能になった、10. 早期予防・介入が可能になった、11. データに基づいた実態把握、結果評価が可能になった、12. レセプトとの突合による医療費分析が可能になった、13. 関係団体との連携強化、14. その他>より選択 (複数可)

●特定健診・特定保健指導の実施にあつたの保険者における問題点・課題(人材不足・予算不足以外の点)があればご記入ください。

←<1. 制度周知不足、2. 庁内連携・庁内の理解不足、3. 健診基準のあり方、4. 保健指導の対象者の選定方法、5. 年度途中異動者への対応、6. システム関連、7. 特定健診以外の健診・検査からのデータ取得、8. 委託先との調整、9. 保健指導の内容、10. 指導者のスキル不足、11. 特定保健指導非該当者への保健指導、12. データ管理・分析・事業評価、13. 後期高齢者支援金加算・減算の仕組み、14. 被扶養者への対応、15. 業務量の多さ、16. その他>より選択 (複数可)

「16. その他」を選んだ場合、その具体的な内容

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。